

# 緩和ケア論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、緩和医療学科、附属病院看護部、附属病院高度看護研修センター		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

## ・学修方針(講義概要等)

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOLの維持・向上を図るアプローチであり、患者とその家族が生活するあらゆる場所で提供される。歴史的背景を踏まえて緩和ケアの理念を理解し、緩和ケア実践における看護師の役割について探求する。全人的な患者理解と苦痛の緩和、患者の価値観や意思を尊重するための支援について理解を深める。さらには、緩和ケアを必要とする患者とその家族が安楽な状態を維持し、尊厳を持って生活できるよう、適切な支援を行うためのチーム医療における看護の役割について学ぶ。

## ・教育成果(アウトカム)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者および家族を全人的に理解することで、自分らしく生き抜こうとする患者とその家族に関心を持つことができる。</li> <li>2. 生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者の全人的苦痛について学び、患者の苦痛を緩和するための看護師の役割を理解できる。</li> <li>3. 緩和ケアを受ける患者とその家族の価値観や意思を尊重するために必要な倫理的視点を身につけることができる。</li> </ol>	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】	
本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。

## ・到達目標(SBO)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緩和ケアにおいて協働する多職種間の専門性と役割を理解し、チームアプローチにおける看護師の役割を説明できる。</li> <li>2. 生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者の全人的苦痛について理解し、苦痛緩和のためのケアを述べることができる。</li> <li>3. 緩和ケアにおける家族ケアの必要性を理解し、家族のアセスメントとケアについて述べるができる。</li> <li>4. 緩和ケアにおけるコミュニケーションの目的と重要性を理解し説明できる。</li> <li>5. 緩和ケアにおける倫理的課題を理解し、患者・家族の価値観や意思を尊重するための看護師の役割について述べるができる。</li> </ol>	
---	--

## ・授業日程

### 【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/26 木 4限	<b>【授業内容】</b> 緩和ケア概論/チームアプローチ ・緩和ケアの定義、概念及び緩和ケアの現状について理解し説明できる ・緩和ケアにおけるチームアプローチについて理解し説明できる <b>【関連するSBO】</b> 1 <b>【事前学修：120分】</b> 緩和ケアの定義と現状についてまとめる <b>【事後学修：120分】</b> 緩和ケアにおけるチームアプローチと看護師の役割についてまとめる	緩和医療学科 木村 祐輔 特任教授
10/3 木 4限	<b>【授業内容】</b> がん患者の身体的苦痛(疼痛マネジメント) ・がん患者の身体的苦痛のアセスメントとケアについて理解し述べるができる ・がん疼痛マネジメントについて理解し述べるができる <b>【関連するSBO】</b> 2 <b>【事前学修：120分】</b> がん患者の主な身体症状についてまとめる <b>【事後学修：120分】</b> がん患者の疼痛マネジメントのアセスメントとケアについてまとめる	緩和医療学科 木村 祐輔 特任教授
10/16 水 3限	<b>【授業内容】</b> がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケア(ディスカッション) ・がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケアについて理解し述べるができる <b>【関連するSBO】</b> 2 <b>【事前学修：120分】</b> がん患者の心の反応、社会的苦痛、スピリチュアルペインについてまとめる <b>【事後学修：120分】</b> がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケアについてまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 (がん看護専門看護師)

10/23 水 3限	<p>【授業内容】緩和ケアにおける家族ケア（ディスカッション）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアにおける家族ケアの必要性を理解し、家族のアセスメントとケアについて述べるができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修：120分】家族ケアの目的についてまとめる</p> <p>【事後学修：120分】緩和ケアにおける家族のアセスメントとケアについてまとめる</p>	<p>附属病院 高度看護研修センター 長澤 昌子 主任教員 (緩和ケア認定看護師)</p>
10/28 月 2限	<p>【授業内容】臨死期にある患者・家族へのケア/喪失・悲嘆・死別（ディスカッション）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨死期における経過や患者・家族のアセスメントとケアについて理解し述べるができる</li> <li>・看取りの時期における患者・家族のアセスメントとケアについて理解し述べるができる</li> <li>・喪失・悲嘆・死別における看護師の役割について理解し述べるができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2、3</p> <p>【事前学修：120分】臨死期における患者と家族の特徴についてまとめる</p> <p>【事後学修：120分】臨死期、看取りの時期における患者・家族のアセスメントとケアについてまとめる</p>	<p>附属病院看護部 加登 沙織 主任看護師 (緩和ケア認定看護師)</p>
11/18 月 4限	<p>【授業内容】非がん疾患の緩和ケア(慢性心不全患者への緩和ケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性心不全の特徴を理解し、慢性心不全患者のアセスメントとケアについて述べるができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修：120分】慢性心不全の特徴についてまとめる</p> <p>【事後学修：120分】慢性心不全患者のアセスメントとケアについてまとめる</p>	<p>附属病院看護部 高橋 郁恵 看護師長 (慢性心不全看護認定看護師)</p>
11/21 木 4限	<p>【授業内容】緩和ケアにおけるコミュニケーション/アドバンス・ケア・プランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアにおけるコミュニケーションスキルについて理解し述べるができる</li> <li>・アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割について理解し述べるができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】4、5</p> <p>【事前学修：120分】基本的なコミュニケーションについてまとめる</p> <p>【事後学修：120分】アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割についてまとめる</p>	<p>緩和医療学科 木村 祐輔 特任教授</p>
11/29 金 4限	<p>【授業内容】緩和ケアにおける倫理的課題/緩和ケアにおける療養支援(ディスカッション)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアにおける倫理的課題について理解し述べるができる</li> <li>・緩和ケアにおける療養支援について理解し述べるができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】5</p> <p>【事前学修：120分】緩和ケアにおける倫理的課題についてまとめる</p> <p>【事後学修：120分】患者の価値観や意思を尊重するための看護師の役割についてまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 (がん看護専門看護師)</p>

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア 第3版	宮下光令	メディカ出版	2022

・成績評価方法

<p>【総括的評価】定期試験で行われる筆記試験(多肢選択)100%にて評価する。</p> <p>【形式的評価】各回の講義終了時にGoogle Formsで学んだことを入力するよう求め、学修の成果を確認する。</p>
---

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <p>講義の中でSlidoを用いた質問への回答やディスカッションの時間を設け、全体および個々の理解を深める。 質問は講義中およびGoogle Formsで受け付け、次回講義内もしくはWebClassでフィードバックする。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>看護師(別表3): 統合分野 看護の統合と実践</p>
---

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影